

あなたの空き家 活かいませんか？

Vol.9

空き家活用通信

大山町の空き家需要は？

空き家の増加については、全国的に問題となっており、「空き家を活用したい人がいないのではないか？」と思われるがちです。しかし、大山町での現状は違います。

現在、空き家バンクには空き家の利用希望が多数寄せられています。利用希望者の数に対して登録空き家の件数が少なくなり、マッチングしづらい状況が依然として続いています。

マッチングしづらい原因として、利用には『賃貸希望』が多く、登録物件には『売買希望』が多い、という点が挙げられます。

特に町外からの移住を考える方は「町に馴染めるかどうか？」という不安があり、いきなり家を購入することには抵抗がある方が多く、ほとんどの方が賃貸物件を探しています。町内の民間賃貸のアパートなどには限りがあることや、家族構成などから一戸建を希望される方などは、空き家物件を探すことになります。

一方で、登録される空き家は、「住む人がいなくなり、管理が大変になったの

で先々のことを考えて手放したい」という所有者が多く、売買の希望が多くなっています。

また、賃貸業をしたことがない方がほとんどですので、「大変そう」という意見が多く聞かれます。

空き家を手放したいとお考えの方には無理に、賃貸としていただくことはできませんが、「将来的に空き家を使う可能性がある」として空き家登録を見送られている方は、賃貸物件としての空き家登録をご検討されてはいかがでしょうか？

空き家バンクでは、所有者と利用者が直接、契約を交わしていただきますので、契約内容について、空き家バンクは関与いたしません。ですので、双方が条件を話しあい、例えば「〇年後には家を使用

